

●オープン記念行事● なごや生物多様性センターへ行ってみよう!

「活動展示&生物多様性講座 PART1」

開催日：平成24年5月12日(土)・13日(日) 10時~15時

会場：名古屋市環境局「なごや生物多様性センター」

参加
無料

あなたの身の回りにいる生きものたちを知っていますか？

なごやにはたくさんの生きものが生息しています。

在来生物はもちろん、外来生物も・・・。

実物やパネルなどでなごやの生きものを紹介するとともに、

第一線で活躍する講師陣が生きものの声を代弁し、

生物多様性についてお伝えします。

お楽しみに!



■ 展 示

【開催日】平成24年5月12日(土)
13日(日)

【開館時間】10時~15時

【会場】なごや生物多様性センター
(住所:名古屋市天白区元八事五丁目230番地)

【アクセス】地下鉄鶴舞線「塩釜口」下車、徒歩5分。「塩釜口東」交差点を東へ
進み看板を右へ。「天白環境事業所」南側。



講座1：ムシの考古学—土に埋もれた昆虫から歴史を読む 座学：当日先着順

【日時】平成24年5月12日(土) 10時半~12時 【定員】50名
【講師】森 勇一(金城学院大学非常勤講師)
【内容】昆虫少年だった理科教師が奈良時代の遺跡の土から、キラリと光るムシのハネを見つけた。ここのはじまりは、27年前のことだった!名古屋市史自然編集などにも携わる講師が、独自の視点で、なごやの生物多様性を解き明かします。

講座2：なごやのカメを捕まえてみよう 調査体験：要申込み

【日時】平成24年5月12日(土) 13時~14時半 【定員】30名
【講師】矢部 隆(なごや生物多様性センター長・愛知学泉大学教授)
【内容】生物多様性センターの横を流れる植田川に入って、タモ網やカメ罟を使って生物を捕獲し観察します。※小学校4年生以上。小学生は保護者同伴。

講座3：植物がつくる生物多様性 座学：当日先着順

【日時】平成24年5月13日(日) 10時半~12時 【定員】50名
【講師】西田 佐知子(名古屋大学博物館准教授)
【内容】名古屋市から東南アジアやマダガスカルまで、植物の生態や分類の謎を追って活躍する講師が、植物がつくりだす生物多様性の豊かさや面白さを紹介します。

講座4：なごやのサカナを捕まえてみよう 調査体験：要申込み

【日時】平成24年5月13日(日) 13時~14時半 【定員】30名
【講師】谷口 義則(名城大学准教授)
【内容】生物多様性センターの横を流れる植田川に入って、タモ網などを使って生物を捕獲し観察します。※小学校4年生以上。小学生は保護者同伴。

※調査体験のお申し込み方法は裏面をご覧ください。

主 催：なごや生物多様性保全活動協議会・名古屋市環境局「なごや生物多様性センター」

●講師プロフィール



森 勇一さん もりゆういち (国際日本文化研究センター客員准教授・同共同研究員、金城学院大学薬学部非常勤講師、なごや生物多様性センターアドバイザー)

1948年愛知県生まれ。
愛知教育大学地学教室卒、三重大学大学院生物資源学研究所博士課程修了。博士(学術)。専門は、環境史学・昆虫生態学。高校教師のかたわら、先史～歴史時代の土の中に埋もれた昆虫化石を調べ、気候変動やヒトの自然改変などを追究。研究する部活動(地学部)を指導し、85名の高校生を地学の道に進ませた。



矢部 隆 やべたかし (なごや生物多様性センター長・愛知学泉大学現代マネジメント学部教授)
1963年、岡山県生まれ。

1986年名古屋大学理学部生物学科卒業、1992年東京都立大学大学院理学研究科生物学専攻博士課程単位取得後満期退学、1993年博士号取得(理学、東京都立大学)、1998年愛知学泉大学現代コミュニティ政策学部助教授就任。現在、同大マネジメント学部教授。日本爬虫類両棲類学会などに所属。

2011年5月から名古屋市環境局生物多様性推進参与、同9月2日に「なごや生物多様性センター」設立とともに、センター長就任。カメ博士として多くの人から親しまれ、たわわっている。



西田 佐知子さん にしださちこ (名古屋大学博物館准教授)

1965年千葉県生まれ。
京都大学文学部で西南アジア史学科卒業後、NHKで番組ディレクターをしているときに植物の面白さに惹かれる。一念発起して退社、京都大学大学院人間・環境学にて植物分類学を学ぶ。
1998年、京都大学博士(人間・環境学)取得。兵庫県立人と自然の博物館研究員を経て現職に至る。中南米や東南アジアのクスノキの仲間を研究するほか、「ダニ室」と呼ばれる未知の植物器官の研究、タンポポなどの植物相互作用の研究を行なっている。



谷口 義則さん たにぐちよしのり (名城大学理工学部環境創造学科准教授)

三重県生まれ。
大学院生の頃からアメリカ・ロッキー山脈や北海道の溪流でイワナの生態を研究し、現在も毎年北海道・知床半島のオショロコマの棲む溪流に通う。愛知では、都市河川の魚類群集保全、ブラックバスの駆除による溜め池生態系の復元、水田ネットワーク再構築による希少魚種の保全等の研究に取り組む。著・訳書に「外来種ハンドブック(2002)」、「野生動物保護の事典(2010)」、「生態系サービスという挑戦(2010)」ほか。山口県立大学助教授を経て現職。日本魚類学会幹事、同学会自然保護委員会委員。博士(地球環境科学)。

●調査体験(講座2、講座4)申し込みについて

・申し込み方法

電子メール、はがき、ファックスにて ①受講希望番号 ②お名前(複数の場合は全員のお名前) ③郵便番号・住所 ④電話番号(あればFAX番号)を記入の上、お申し込みください。Eメールでのお申し込みの方は、件名を「講座申し込み」とし、本文に必要事項を入力の上お申し込みください。両日申込も可能です。

※小学校4年生以上から参加できます。(小学校4～6年生は保護者同伴)
お申し込みの際、お子さんの名前の横に学年も記入願います。

・定 員 各30名

・申込締切 **平成24年5月1日(火)【必着】**

※応募多数の場合は抽選。結果は5月上旬にお知らせします。落選の場合もご連絡します。
なお、定員に達しない場合は、継続募集しますので、お問い合わせください。

・お問合せ・お申込み先

名古屋市環境局「なごや生物多様性センター」

住所：〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地
電話番号：831-8104 FAX番号：839-1695
電子メールアドレス：bdnagoya@kankyokyo.city.nagoya.lg.jp

※座学(講座1・講座3)は当日先着順となります。各定員50名。